


独自の設定へのクイックスタート

Green-GO Control ソフトウェアとその「クイックスタートウィザード」を使えば、カスタム構成による Green-GO システムのセットアップは、いくつかのステップで完了できます。以下は、Green-GO システムをセットアップするために推奨される手順の順序です。なお、これらのステップは必要に応じて任意の順序で実行・繰り返すことが可能です。

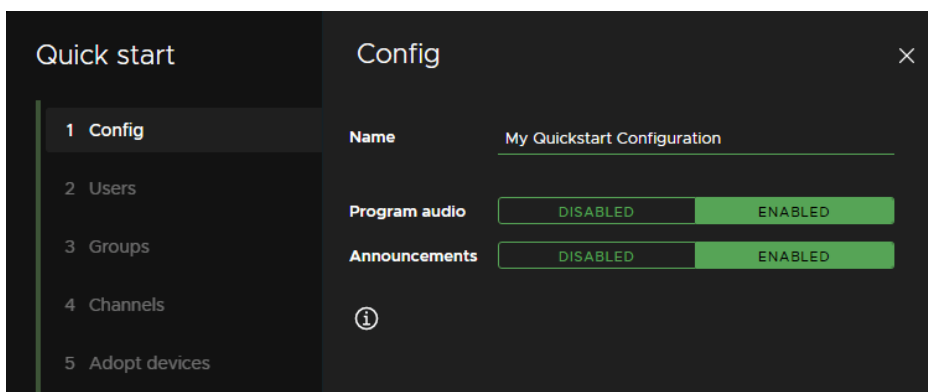
- 設定ファイルを作成する
- デバイスを採用する
- ユーザーをデバイスに割り当てる
- オーディオレベルの設定

クイックスタートウィザード

QUICK START ウィザードは、起動画面（スプラッシュスクリーン）から、または右上の  File ドロップダウンメニューから起動できます。

このウィザードは、基本的なシステム構成（config）を作成するための4つのステップをユーザーに案内します。「5分で完了するシステムセットアップ」としても、あるいはより複雑なシステムを構築するための「出発点」としても活用できます。

NEXT ボタンをクリックすると、ウィザードの次のステップへ進みます。ステップを完了した後も、BACK ボタンをクリックして前のステップに戻り、必要な修正を行うことが可能です。



コンフィグステップ

- **コンフィグ名:** システム構成（config）の名前をここで設定できます。
- **プログラムオーディオ:** 有効にすると、プログラムオーディオ（PAからの送り音や中継音声など）専用のグループが自動的に作成されます。
- **アナウンスチャンネル:** 有効にすると、アナウンス用（全域呼び出しや一斉放送など）のグループが自動的に作成されます。

プログラムオーディオ

プログラムオーディオは、ステージの音声フィードなどをデバイスの出力ミックスに追加するために使用されます。

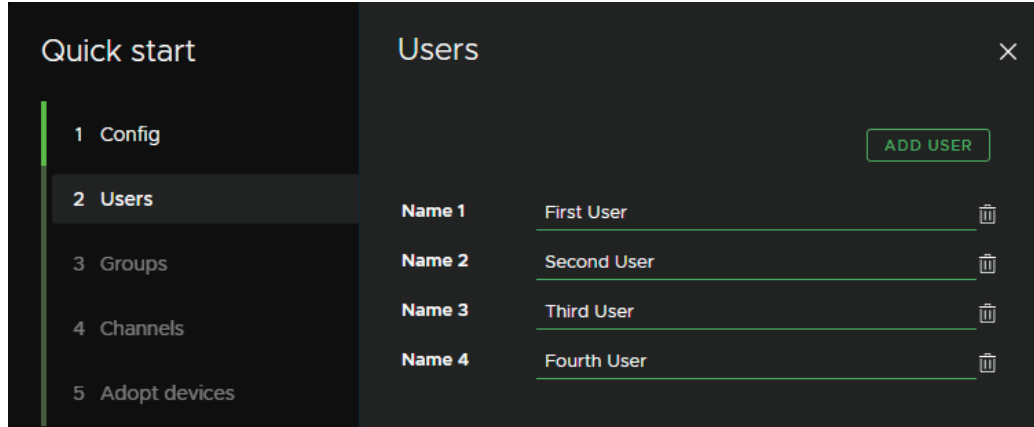
- ID: 400 名前: PGM のグループが作成されます。
- すべてのユーザーに対し、プログラム・オーディオ・チャンネルとしてこのグループが割り当てられます。初期設定値：音量レベル -6 dB、ディム（他者が話した際の減衰） -6 dB。

アナウンスチャンネル

アナウンスチャンネルは、特殊な「リスニング専用（受話のみ）」チャンネルです。通常のチャンネルよりも優先度が高く設定されています。アナウンス・チャンネルに音声が入ると、他のすべてのチャンネルの音量が減衰されます。

- ID: 399 名前: Announce のグループが作成されます。
- すべてのユーザーに対し、アナウンス・チャンネルとしてこのグループが割り当てられます。
- すべてのユーザーの優先ディム（Priority Dim）設定が -6 dB に設定されます。

ユーザー設定ステップ



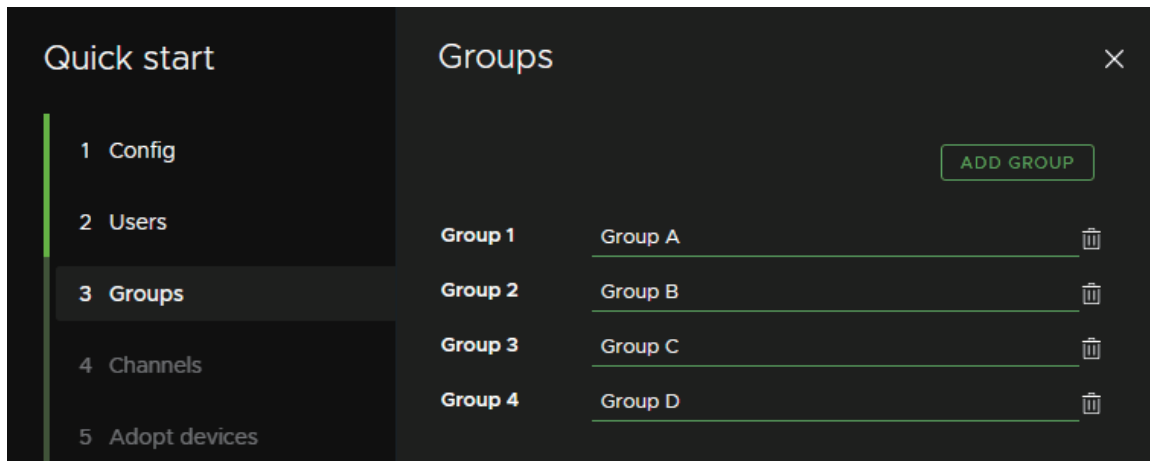
初期状態では、ユーザー名入力用フィールドが1つ生成されます。

ADD ボタンにより追加フィールドを作成できます。
リサイクルボタンで既存フィールドを削除できます。
Quick Start Wizard で定義可能なユーザー数は最大10名です。

NEXT ボタンを押すと、各フィールドに基づいてユーザーが自動作成されます。

グループステップ

最初に、ユーザー名を入力できるユーザーフィールドが1つ作成されます。



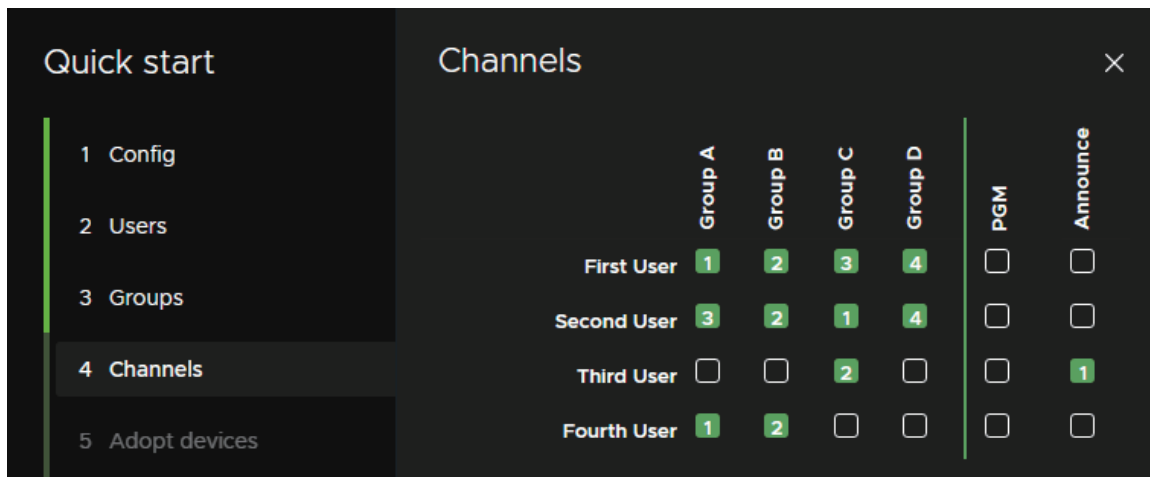
ADD

ボタンを押すと、追加のグループフィールドが追加されます。ごみ箱ボタンは、以前に作成したフィールドを削除するために使用できます。クイックスタートウィザードでは最大10個のグループを作成できます。

NEXT

ボタンを押すと、各フィールドごとに自動的にグループが作成されます。

チャンネルステップ



チャンネル設定ステップでは、作成済みのグループを作成済みのユーザーに割り当てることができます。

画面に表示されるマトリックスでは、列にグループ、行にユーザーが表示されます。チェックボックスをオンにすると、グループが最初に利用可能なチャンネルに割り当てられます。


チャンネルの割り当ては、チェックボックスがチェックされた順序で行われます。これはチェックボックス内の数字で示されます。

CREATE CONFIG

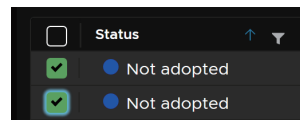
ボタンをクリックすると設定ファイルが作成されます。設定ファイル作成後デバイスを登録し、各デバイスにユーザーを割り当てる必要があります。

デバイスの登録

ネットワーク内のすべてのデバイスは、通信可能にするために同一の設定ファイルのメンバーである必要があります。

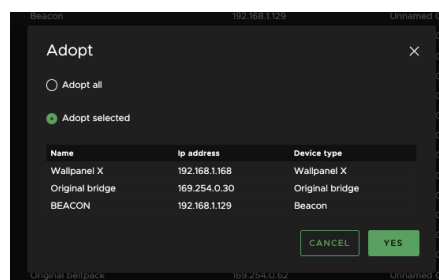
1つまたは複数の ● Not adopted デバイスを現在の設定ファイルに採用するには、 ネットワークビューに移動し、以下の手順を実行します：

選択したデバイスを登録する



- 対象デバイスのチェックボックスにチェックを入れます。
- ボタンをクリックします。
- 確認ポップアップで「adopt selected」オプションにチェックが入っていることを確認します。
- を選択して、選択したデバイスを登録します。
- デバイスのステータスが ● connected に変わります。

すべてのデバイスを登録する



- ボタンをクリックします。
- 確認ポップアップで「adopt all」オプションにチェックが入っていることを確認します。
- を選択して、すべてのデバイスを登録します。
- デバイスのステータスが ● connected に変わります。

デバイスからコンフィグに参加する

Green-GO デバイスは、ネットワーク上で有効になっているコンフィグに参加できます。

- デバイスメニューを開きます。
- Config を選択します。
- Join Config を選択します。
- ネットワーク上に表示されているコンフィグ一覧から、参加するコンフィグを選択します。
- コンフィグへの参加を確認します。

これでデバイスはコンフィグのメンバーとなり、Network ビュー上でも ● connected と表示されます。

ユーザーをデバイスに割り当てる

Green-GO Control ソフトウェアに登録され、接続されているデバイスは、メニューツリーの **Devices** の下に表示されます。

コンフィグに新しく登録されたデバイスには、まだユーザーが割り当てられておらず、すべての設定はデフォルト状態になっています。

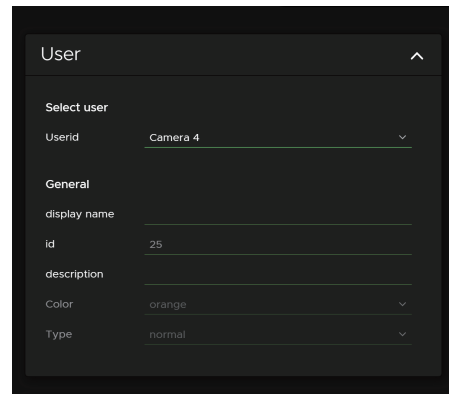
他のユーザーやグループと通信するためには、各デバイスまたは各ポートに必ずユーザーを割り当てる必要があります。

1人のユーザーを複数のデバイスに割り当てることも可能です。

ユーザーをデバイスに割り当てる方法は、2通りあります。

ユーザーを割り当てるデバイスを選択する

- メニューツリーの **Devices** をクリックすると、メインウィンドウに Devicesビュー が表示されます。
- Devicesビューで1つまたは複数のデバイスのチェックボックスにチェックを入れ、**DETAILS** ボタンをクリックしてデバイス詳細を表示します。
※ 同時にユーザーを割り当てられるのは、同一タイプのデバイスのみです。
- Settings タブを開きます。
- **User assign** カード内の User フィールドのドロップダウンリストから、このデバイスに割り当てるユーザーを選択します。
- 新しいユーザー割り当てを確定します。

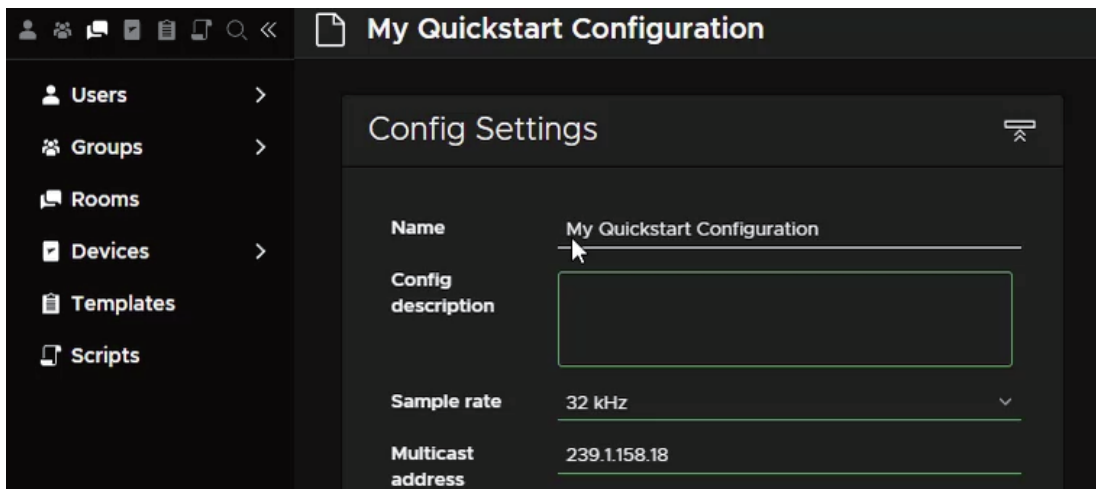


ドラッグ&ドロップ

ドラッグ&ドロップ操作を使用して、ユーザーをデバイスに割り当てることができます。方法は以下のとおりです。

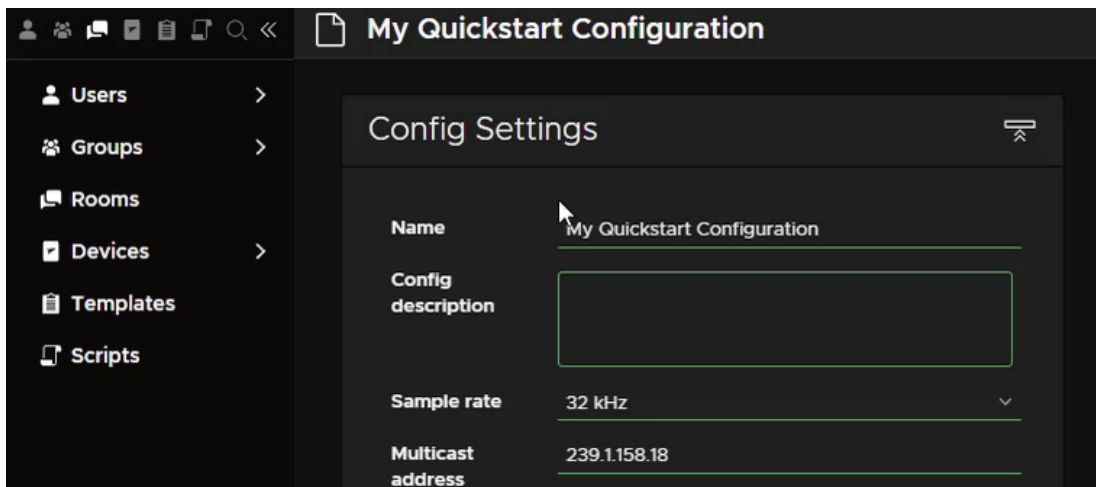
- メニューツリーからユーザーをドラッグし、Devicesビュー内のデバイスにドロップします。
- メニューツリーからユーザーをドラッグし、選択済みの Devicesビュー にドロップします。
- ユーザーを Channel タブ上にドラッグ&ドロップします。
- ユーザーアイコンおよびVUメーターが表示されているデバイス画像の上部エリアに、ユーザーをドラッグ&ドロップします。

ユーザーをデバイスにドロップする



- メニューツリーからデバイスをドラッグし、Usersビュー内のユーザーにドロップします。
- メニューツリーからデバイスをドラッグし、UsersビューのChannelsタブ内の選択済みユーザーにドロップします。

デバイスをユーザーにドロップする



オーディオレベルの設定

Green-GO デバイスのセットアップにおける最後で最も重要なステップは、適切なオーディオ入力設定を行うことです。

各マイクにはそれぞれ固有の特性があるため、ゲインを正しく設定する必要があります。

ゲインの設定は、デバイスの [Audio Profile](#) で行います。

適切なゲインを見つける

歪みやクリッピング、または信号対雑音比 (S/N比) の悪化を防ぐためには、適切な入力ゲインとコンプレッションの設定が重要です。



- 正しい入力ソースのVUメーターを選択します。
- コンプレッサーとゲートをオフにします。
- マイクに十分近づき、適切な音量で話します。
- VUメーターが白いライン (0 dB) 付近になるように、ゲインを上げ下げして調整します。
- 発話の音量を上げ下げしても、VUメーターがオレンジゾーン (-12 dB ~ +6 dB) 内に収まるようにします。
- 声のダイナミックレンジが大きすぎる場合は、コンプレッサーを有効にします。
- 背景ノイズを抑えるには、ゲートを設定します。発話が小さいときにゲートが作動してしまわないよう注意してください。

Green-GO Control を使用してデバイスのオーディオ入力を設定する

Green-GO Control ソフトウェアを使用してデバイスごとにオーディオ入力ゲインを設定することで、各デバイスを個別に詳細に制御できます。

- 同じヘッドセットタイプのデバイスを1台または複数台選択します。
- Audio タブを選択します。
- 適切なゲインを設定します。

本体デバイスでオーディオ入力を設定する

オーディオ設定は、デバイス本体のメニューから行うことができます。

- メニューを開きます。
- Audio メニュー項目を選択します。
- 適切なゲインを設定します。

🕒 2024年5月26日 🕒 2021年2月1日

👤 Henk-Jan Blok, Timo Toups